



クイーン倶楽部だより 0月号

2025年

第263号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟

新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100

TEL 0258(66)0070

FAX0258(66)0447

URL <http://www.eco-rice.jp/>

E-mail office@eco-rice.jp



2025

迎春



謹んで新春のお慶びを申し上げます

本年が会員の皆様にとって、素晴らしい一年となることを心から祈念いたします。
お米のすばらしさを世界に伝える、JAPAN RICE PEACE PROJECTの活動を
進めてまいります。

本年も何卒ご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

有限会社エコ・ライス新潟 従業員一同



それで いいのか 医療

コロナ抗体保有率

その16

コロナ騒動もだいぶ鎮静化してきましたが、日本赤十字社が献血者の残余血液を利用し、新型コロナウイルス抗体の保有率を検査し、発表していますのでそれをお知らせします。コロナ抗体とは、コロナ感染に対する抵抗力で、罹ったことがある、予防接種をしたことがある人は抗体保有者となり、コロナ免疫が有ると判断されます。

何回かその検査状態が発表されていますが、最新版の第8回検査(令和6年3月時点)の結果によりますと1万8048人が検査なされて、抗体保有(陽性)者は64.5%でした。一回は罹ったか、予防接種したかの結果ですが、陽性率は高くありません。献血者は16歳から69歳までで、概して若い人中心ですのでこの検査結果と言えます。

この比率からみると、予防接種はかなりの人が何回も実施していますので、予防接種では抗体があまりついていないといえます。数回の予防接種を繰り返しますので保有率は9割以上となるはずですが、一回程度では抗体がすぐに消えてしまうのでしょうか、数回も打てば陽性者はかなり高いはずですが低値で止まっています。

新型コロナワクチンは冷凍保存方式ですが、生ワクチンではなく不活化ワクチンです。それ故に抗体保有率は高くないのでしょうか。自然感染が抗体獲得の最良の方法といえます。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学名誉教授。まほろば東京クリニック院長。
「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者。